

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 災害時広域連携強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 災害対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2745)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 186 千円 (前年度予算額：186 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	186	0	0	0	0	0	0	0	186
要求額	186	0	0	0	0	0	0	0	186
決定額	186	0	0	0	0	0	0	0	186

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

東日本大震災は、東北・関東地方の広範囲に甚大な被害をもたらす「超」広域災害となり、被災県及び近隣県のみによる応援体制では十分な対応ができないことが明らかになった。今後発生が予想される南海トラフの巨大地震等の大規模災害に備えるためには、近隣県との連携強化はもとより、同時被災の可能性の少ない遠隔県等との連携強化が重要であるため、平成23年11月に姉妹県の鹿児島県と災害時応援協定を締結し、連携強化を図った。

今後は、鹿児島県との協定に基づく協力体制の推進を図るとともに、さらに他県との連携強化のための状況調査を実施する。

(2) 事業内容

①鹿児島県との災害時応援協定締結に基づく取り組み

○平時の防災協力体制の構築

- ・防災訓練への参加、連絡会議の開催
- ・備蓄物資の情報交換 など

②他県との連携強化のための状況調査及び打ち合わせ

(3) 県負担・補助率の考え方

県で実施すべき事業である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	171	・ 防災訓練及び連絡協議会への参加（鹿児島県開催） ・ 南海トラフ巨大地震の影響が少ない地域の県等との打合せ
需用費	10	・ 消耗品費
役務費	5	・ 郵送代、電話代
合計	186	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 同時被災の可能性の少ない遠隔県等と災害時応援協定を締結し、防災訓練への参加や連絡会議の開催等の平常時の取り組みを通じて連携を強化することで、今後発生が予想される「超」広域災害に備えた防災協力体制を構築する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

遠隔県（鹿児島県）等との災害広域連携は、例年、互いの防災訓練へ参加し、防災協力体制のあり方について確認、情報交換することにより強化を図っているが、訓練参加について、回数を増やす等の数値指標を設定することは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 R1.5.19、本県職員が鹿児島県総合防災訓練視察のため鹿児島県に出向き、訓練は同県で土砂災害が発生したため中止となったが、訓練会場の機能配置等を視察し、同県の災害対応手順について理解を深めた。また、R1.9.1には、鹿児島県の職員が本県に出向き、総合防災訓練を視察した。
 令和2年度は、鹿児島県総合防災訓練が、新型コロナウイルス感染症のため開催中止となった。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 防災訓練の相互視察を行うことなどにより、防災協力体制の強化が図られ、また、防災対策の実効性の向上も図られた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	今後発生が予想される南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備えるためには、近隣県との連携強化はもとより、同時被災の可能性が少ない遠隔県等との連携強化が重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	日頃コミュニケーションを図る機会が少ない中、訓練参加等を通じて定期的に交流を深め、連携を強化していくことは、非常に有効である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	防災訓練に相互に参加し、両県の災害対応の考え方や課題等を総合的に把握することで、効率的な連携強化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>中部9県1市における相互応援協定のほか、鹿児島県と単独で災害時応援協定を締結しているが、「超」広域災害に備えるためにこれで十分ということはない。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>いつ発生してもおかしくない「超」広域災害に備えるため、今後も広域連携強化に向けた取り組みを行っていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	総合防災訓練事業費 【防災課】
組み合わせで実施する理由や期待する効果 など	本県の総合防災訓練を鹿児島県職員が視察することで、連携強化を企図している。

